

# 教育研究業績書

2023年10月23日

所属：社会情報学科

資格：教授

氏名：新田 直子

研究分野	研究内容のキーワード
知覚情報処理、メディア情報学	マルチメディアデータ解析、パターン認識、機械学習
学位	最終学歴
博士（工学）	大阪大学大学院基礎工学研究科情報数理系専攻後期課程

## 教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. 「AI入門」の講義資料	2022年	武庫川女子大学情報メディア学科1年次対象の「AI入門」の講義資料として、人工知能の定義、歴史に始まり、3回の大きなブームにおいて、人工知能を実現するために提案されてきた、探索、推論、知識表現、機械学習といった主な技術のアイデア、及び各技術により解決される問題の範囲など、人工知能技術の現状を説明するための教材を作成した。
2. 「プログラミング技法II」講義資料	2019年	大阪大学工学部電子情報工学科3年次対象の「プログラミング技法II」の講義資料として、pythonのさまざまな技法（入出力、演算、制御構文、関数、データ構造など）を段階的に用いると共に、「プログラミング技法I」との繋がりも考慮し、確率的シミュレーション、適合度検定、回帰、暗号など通信分野の実践的な課題を設定した教材を作成した。
3. 「プログラミング技法I」講義資料	2018年	大阪大学工学部電子情報工学科2年次対象「プログラミング技法I」の講義資料として、C++のさまざまな技法（入出力、演算、制御構文、関数、配列、ポインタ、クラスなど）を段階的に用いると共に、問題を細分化しながら解決する方法を体験的に学習できるように、簡単な符号化・復号化、適合度検定、待ち行列シミュレーションなど通信分野の実践的な課題を設定した教材を作成した。
4. 「マルチメディア信号解析」講義資料	2009年	大阪大学大学院工学研究科修士課程1年次対象の「マルチメディア信号解析」の講義資料として、基本的な画像処理（濃度変換、2値化処理、フィルタ処理、幾何学的変換、特徴抽出、パターンマッチングなど）、及び画像認識のためのパターン認識（識別関数、確率的生成モデル、確率的識別モデルなど）の技術を説明するための教材を作成した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

## 職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. ダイキン工業株式会社との共同研究「空調制御高度化のための異種センサを用いた環境快適性評価に関する研究」	2016年～2018年度	特定の環境において、客観的指標である温度などを観測する機械センサと、主観的な快適さを観測する人間という異種のセンサの観測値の関係を学習することにより、機械センサからの観測値のみが得られる環境において、人間が感じるであろう環境の快適さを推定する手法について検討した。
2. (株)小松製作所との共同研究「高精度高速3次元計測技術の研究」	2016年～2018年度	部品の歪みや磨耗などの検査のため、簡便かつ高精度な三次元計測を実現するため、簡便ではあるが低精度

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
3. アルゴリズムコンテスト「クローンを探せ！」の実施	2009年	な三次元計測器により得られる計測値を自動補正する手法について検討した。 電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究会が毎年開催しているアルゴリズムコンテストにおいて、コンテストのテーマ設定から、Webページ、サンプルプログラム、データの作成、参加者の招致、プログラムのテスト、審査、授賞式、実施報告など全行程のとりまとめを行った。
<b>4 その他</b>		
1. 大阪大学大学院工学研究科男女共同参画WG	2008年～2021年度	工学分野の女性研究者を増やすための取り組みとして、女子高校生を対象としたオープンキャンパスや、大学内の女性教職員、女子学生を対象とした集いを企画、実施した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要

<b>1 著書</b>				
1. Frontiers in Fake Media Generation and Detection	共	2022年6月	Springer Singapore	K. Nakamura, Y. Mori, N. Nitta, and N. Babaguch, Recognizer Cloning Attack on Image Recognition Services and Its Defending Method, pp.235-247を担当 (査読有)
2. Frontiers in Fake Media Generation and Detection	共	2022年6月	Springer Singapore	J. Lim, M. Tamura, N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi, Spoofing Tweet Generator Considering Points of Interest of Target User, pp.109-127を担当 (査読有)
3. Human Behaviour Understanding in Networked Sensing - Theory and Applications of Networks of Sensors	共	2014年11月	Springer Verlag	N. Nitta, R. Akai, and N. Babaguchi, Chapter 11, People Counting across Non-Overlapping Camera Views by Flow Estimation among Foreground Regions, pp.239-259を担当
4. 知識ベース「知識の森」	共	2013年4月	電子情報通信学会	新田直子, 2群 11 編 2 章 2-1 節, 自動アノテーション・マルチメディア意味解析, pp.2-5を担当
5. Encyclopedia of Database Systems	共	2009年9月	Springer Verlag	N. Babaguchi and N. Nitta, Video Scene and Event Detection, pp.3303-3308を担当
6. Encyclopedia of Multimedia	共	2008年9月	Springer Verlag	N. Babaguchi and N. Nitta, Sports Video Analysis, pp.820-827を担当

<b>2 学位論文</b>				
1. Semantic Content Analysis of Broadcasted Sports Videos with Intermodal Collaboration	単	2003年3月	大阪大学大学院基礎工学研究科 博士論文	
2. 言語と画像の情報統合によるスポーツ映像からの人物・アクション・イベントの抽出	単	2000年3月	大阪大学大学院基礎工学研究科 修士論文	

<b>3 学術論文</b>				
1. Social IoT Approach to Cyber Defense of a Deep-Learning-Based Recognition System in Front of Media Clones Generated by Model Inversion Attack	共	2022年11月	IEEE Transactions on Systems, Man, and Cybernetics: Systems, 11 pages (査読有)	Mahdi Khosravy, Kazuaki Nakamura, Naoko Nitta, Nilanjan Dey, Ruben Gonzalez Crespo, Enrique Herrera-Viedma, and Noboru Babaguchi
2. Anonymization of	共	2022年9月	IEEE	Yuki Hirose, Kazuaki Nakamura, Naoko Nitta, and Noboru

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
Human Gait in Video Based on Silhouette Deformation and Texture Transfer			Transactions on Information Forensics and Security, vol. 17, pp.3375-3390 (査読有)	Babaguchi
3. Model Inversion Attack by Integration of Deep Generative Models: Privacy-Sensitive Face Generation from a Face Recognition System	共	2022年1月	IEEE Transactions on Information Forensics and Security, vol. 17, pp.357-372 (査読有)	M. Khosravy, K. Nakamura, Y. Hirose, N. Nitta, and N. Babaguchi
4. Semi-Supervised Temporal Segmentation of Manufacturing Work Video by Automatically Building a Hierarchical Tree of Category Labels	共	2021年4月	IEEE Access, vol.9 pp.68017-68027 (査読有)	K. Nakamura, N. Nitta, N. Babaguchi, K. Fujii, S. Matsumura, and E. Nabata
5. Model Inversion Attack: Analysis under Gray-box Scenario on Deep Learning based Face Recognition System	共	2021年3月	KSII Transactions on Internet and Information Systems, vol.15, no.3, pp.1100-1118 (査読有)	M. Khosravy, K. Nakamura, Y. Hirose, N. Nitta and N. Babaguchi
6. Generation and Detection of Media Clones	共	2021年1月	IEICE Transactions on Information and Systems, vol. E104.D, no.1, pp.12-23 (査読有)	I. Echizen, N. Babaguchi, J. Yamagishi, N. Nitta, Y. Nakashima, K. Nakamura, K. Kono, F. Fang, S. Myojin, Z. Kuang, H. H. Nguyen, and N.-D. T. Tieu
7. Preventing Fake Information Generation Against Media Clone Attacks	共	2021年1月	IEICE Transactions on Information and Systems, vol. E104.D, no.1, pp.2-11 (査読有)	N. Babaguchi, I. Echizen, J. Yamagishi, N. Nitta, Y. Nakashima, K. Nakamura, K. Kono, F. Fang, S. Myojin, Z. Kuang, H. H. Nguyen, and N.-D. T. Tieu
8. Constructing Geospatial Concept Graphs from Tagged Images for Geo-Aware Fine-Grained Image Recognition	共	2020年5月	ISPRS International Journal of Geo-Information, vol.9, no.6, 354, 23 pages (査読有)	N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi
9. Discrimination between Genuine and Cloned Gait Silhouette Videos via Autoencoder-based Training Data Generation	共	2019年12月	IEICE Transactions on Information and Systems, vol. E102-D, no.12, pp.2535-2546 (査読有)	Y. Hirose, K. Nakamura, N. Nitta, and N. Babaguchi
10. Constructing	共	2019年5月	ISPRS	J. Lim, N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
Geographic Dictionary from Streaming Geotagged Tweets			International Journal on Geo-Information, vol.8, no.5, 216, 24 pages (査読有)	
11. Encryption-Free Framework of Privacy-Preserving Image Recognition for Photo-Based Information Services	共	2018年10月	IEEE Transactions on Information Forensics and Security, vol. 14, no.5, pp. 1264-1279 (査読有)	K. Nakamura, N. Nitta, and N. Babaguchi
12. マイクロブログからの関連実世界観測情報の抽出	共	2018年3月	日本データベース学会和文論文誌, vol.16-J, no.22, 8 pages (査読有)	新田直子, 吉武真人, 中村和晃, 馬場口登
13. Digital Diorama: Privacy-Preserving and Intelligible SensingBased Real-World Content	共	2015年7月	ITE Transactions on Media Technology and Applications, vol.3, no.3, pp. 184-193 (査読有)	N. Nitta and N. Babaguchi
14. 単語間の関係性の経時変化を考慮したマイクロブログからの実世界観測情報の抽出	共	2014年10月	日本データベース学会論文誌, vol. 13-J, no.1, pp.7-12 (査読有)	新田直子, 角谷直人, 馬場口登
15. Content Analysis for Home Videos	共	2013年4月	ITE Transactions on Media Technology and Applications, vol.1, no.2, pp. 91-100 (査読有)	N. Nitta and N. Babaguchi
16. Example-based Video Remixing	共	2011年1月	Multimedia Tools and Applications, vol.51, no.2, pp.649-673 (査読有)	N. Nitta and N. Babaguchi
17. Recoverable Privacy Protection for Video Content Distribution	共	2010年1月	Special issue: Enhancing Privacy Protection in Multimedia Systems, EURASIP Journal on Information Security, vol. 2009, Article ID 293031, 11 pages (査読有)	G. Li, Y. Ito, X. Yu, N. Nitta, and N. Babaguchi
18. User and Device Adaptation in Summarizing Sports Video Content	共	2009年6月	IEICE Transactions on Information and Systems, vol.E92-D, no.6, pp.	N. Nitta, Y. Takahashi, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
19. Automatic Personalized Video Abstraction for Sports Videos Using Metadata	共	2009年1月	1280-1288 (査読有) Multimedia Tools and Applications, vol.41, no.1, pp.1-25 (査読有)	N. Nitta, Y. Takahashi, and N. Babaguchi
20. 部分映像挿入による時間軸上の映像補完	共	2008年11月	映像情報メディア学会誌, vol.62, no.10, pp.1633-1640 (査読有)	庄司竜太, 新田直子, 馬場口登
21. PriSurv: プライバシー保護機能を有する映像サーベイランスシステム	共	2008年7月	情報処理学会論文誌コンピュータビジョンとイメージメディア, vol.1, no.2, pp.152-162 (査読有)	知野見健太, 李光鎮, 中嶋大介, 新田直子, 伊藤義道, 馬場口登
22. 個人的選好獲得のための特定人物のテレビ視聴時における興味区間推定	共	2007年8月	電子情報通信学会論文誌, vol.J90-D-II, no.8, pp.2202-2211 (査読有)	山本誠, 谷本浩昭, 新田直子, 馬場口登
23. テロップ消去のための時空間特徴を用いた映像修復	共	2007年1月	映像情報メディア学会誌, vol.61, no.1, pp.91-97 (査読有)	庄司竜太, 新田直子, 馬場口登
24. 適合性フィードバックを用いた映像パッケージのインタラクティブクラスタリング	共	2005年8月	電子情報通信学会論文誌, vol.J88-D-II, no.8, pp.1702-1711 (査読有)	木下幸裕, 新田直子, 馬場口登
25. Generating Semantic Descriptions of Broadcasted Sports Videos Based on Structures of Sports Games and TV Programs	共	2005年1月	Multimedia Tools and Applications, vol.25, no.1, pp.59-83 (査読有)	N. Nitta, N. Babaguchi, and T. Kitahashi
26. 放送型スポーツ映像の意味内容獲得のためのストーリー分割法	共	2003年8月	電子情報通信学会論文誌, vol.J86-D-II, no.8, pp.1222-1233 (査読有)	新田直子, 馬場口登
27. 放送型スポーツ映像の構造解析に基づく意味内容の獲得	共	2002年9月	情報科学技術フォーラム2002情報技術レターズ, L1-19, pp.161-162 (査読有)	新田直子, 馬場口登
28. 放送型スポーツ映像の構造を考慮した重要シーンへの自動アノテーション付け	共	2001年8月	電子情報通信学会論文誌, vol.J84-D-II, no.8, pp.1838-1847 (査読有)	新田直子, 馬場口登, 北橋忠宏
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
1. 画像認識・生成へのソーシャルメディアの活用	単	2020年11月	電気関係学会関西連合大会, 2pages	新田直子

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
2. 編集映像におけるリズムに基づいた動画と音の同期パターン分析	単	2006年9月	電気関係学会東海支部連合大会、2 page	新田直子
<b>2. 学会発表</b>				
1. 単一クラスの情報のみを出力する顔画像認識器に対する効率的なModel Inversion Attack	共	2023年3月	電子情報通信学会技術研究報告, vol.122, no.412, EMM2022-89, pp. 116-121	吉村駿佑, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
2. 広告画像生成のための自動生成テキストの有効性の検証	共	2023年3月	電子情報通信学会総合大会, ジュニア&学生ポスターセッション, ISS-P-041	中田景子, 大野ひとみ, 辻 萌々華, 新田直子
3. テキストによる広告画像生成のための真正画像と生成画像の比較調査	共	2023年3月	電子情報通信学会総合大会, ジュニア&学生ポスターセッション, ISS-P-039	島村礼子, 大田美空, 新田直子
4. 物体に応じた外観変換による画像の印象操作	共	2023年3月	電子情報通信学会技術研究報告, vol. 122, no. 440, MVE2022-94, pp. 218-223	内田祐生, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
5. マルチモーダルなTransformerを用いた広告画像における対象物の検出	共	2023年3月	電子情報通信学会技術研究報告, vol. 122, no. 440, MVE2022-93, pp. 212-217	城所悠太, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
6. An Experimental Consideration on Gait Spoofing	共	2023年2月	International Conference on Computer Vision Theory and Applications, 8 pages (査読有)	Yuki Hirose, Kazuaki Nakamura, Naoko Nitta, and Noboru Babaguchi
7. 認識器クローンに対する防御を目的とした信頼度改変処理の検討	共	2022年3月	電子情報通信学会総合大会講演論文集, D-19-9	浜崎大輔, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
8. パーツ毎の画像変換と歪み補正モデルに基づく動作クローン映像生成	共	2022年3月	電子情報通信学会技術研究報告, vol.121, no.423, MVE2021-77, pp. 199-204	山下雅弘, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
9. 映像における印象操作の対象人物の検出と印象推定	共	2022年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, H21-3, 8 pages	田村優幸, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
10. 気象センサ情報を用いた屋外画像における人物の服装変換	共	2022年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, C31-2, 8 pages	岡田溪, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
11. 文字種ごとの特徴空間を活用した協調フィルタリングに基づく手書き文字クローン生成	共	2022年3月	電子情報通信学会技術研究報告, vol.121, no.427, PRMU2021-77, pp.109-114	玉谷幸輝, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
12. デジタル文書画像	共	2022年3月	電子情報通信学会	佐々木航真, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
に対する字体変換処理に基づく手書き文書クローンの生成			技術研究報告, vol.121, no.427, PRMU2021-75, pp.97-102	
13. 知識グラフを用いた転移学習による少数ショット詳細画像認識	共	2022年3月	電子情報通信学会技術研究報告, vol.121, no.427, PRMU2021-65, pp.31-36	谷口琉聖, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
14. 多様な詳細概念の少数ショット認識のためのメタ学習における分類タスクの影響の検証	共	2022年3月	電子情報通信学会技術研究報告, vol.121, no.427, PRMU2021-66, pp.37-41	井上駿哉, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
15. Model Inversion Attack against a Face Recognition System in a Black-Box Setting	共	2021年12月	Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference (査読有)	S.Yoshimura, K.Nakamura, N.Nitta, and N.Babaguchi
16. 画像認識器に対する認識器クローン作成攻撃とその検知	共	2021年7月	画像の認識・理解シンポジウム	森勇登, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
17. GAN識別器のアンサンブル学習による真正画像とクローン画像の識別	共	2021年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2020-70, pp.7-12	濱崎直紀, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
18. 画像の印象操作のためのオブジェクトの外観変換	共	2021年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-30	内田祐生, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
19. 構造未知の画像認識器に対するModel Inversion Attackの検討	共	2021年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-13	吉村駿佑, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
20. 概念間類似度に基づく知識グラフを用いた詳細画像認識	共	2021年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2020-98, pp.164-169	鎌田和博, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
21. 半教師あり学習による非視覚センサ値を用いた時間軸をもつ画像列生成	共	2021年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2020-72, pp.19-24	川上蒼太, 岡田溪, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
22. Semi-Supervised Outdoor Image Generation Conditioned on Weather Signals	共	2021年1月	International Conference on Pattern Recognition, pp.4268-4275 (査読有)	S. Kawakami, K. Okada, N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi
23. Detection of Cloned Recognizers : A Defending Method against Recognizer Cloning Attack	共	2020年12月	Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference, pp.1375-1380 (査読有)	Y. Mori, K. Nakamura, N. Nitta, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
24. Deep Face Recognizer Privacy Attack: Model Inversion Initialization by a Deep Generative Adversarial Data Space Discriminator	共	2020年12月	Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference, pp.1400-1405 (査読有)	M. Khosravy, K. Nakamura, N. Nitta, and N. Babaguchi
25. 概念間の視覚的類似度を用いた少量の事例画像による効率的な画像認識器の学習	共	2020年12月	映像情報メディア学会創立70周年記念大会, 2pages	鎌田和博, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
26. DCGANベース顔生成器を対象としたシードベクトル推定に基づく実写顔画像と生成顔画像の判定	共	2020年12月	映像情報メディア学会創立70周年記念大会, 2pages	廣瀬雄基, 春木佑太, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
27. GANにより訓練した識別器のパギングによる手書き文字画像とコンピュータ生成文字画像の識別	共	2020年12月	映像情報メディア学会創立70周年記念大会, 2pages	濱崎直紀, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
28. Reproducibility Companion Paper: Visual Sentiment Analysis for Review Images with Item-Oriented and User-Oriented CNN	共	2020年10月	ACM International Conference on Multimedia, pp. 4444-4447 (査読有)	Q.-T. Truong, H. W. Lauw, M. Aumüller, and N. Nitta
29. Semantic Structurization of Geotagged Tweets for Real-World Information Retrieval	共	2020年9月	電子情報通信学会技術研究報告, MVE2020-15, pp. 27-28	J. Lim, N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi
30. 半教師あり学習による非視覚センサ値を用いた画像生成	共	2020年8月	画像の認識・理解シンポジウム	川上蒼太, 岡田溪, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
31. シルエット変化に基づく歩容動画の匿名化	共	2020年8月	画像の認識・理解シンポジウム	廣瀬雄基, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
32. 地理空間概念知識グラフを用いたグラフ畳み込みネットワークによる詳細画像認識	共	2020年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2019-83, pp. 93-98	執行雄樹, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登 (PRMU研究奨励賞受賞)
33. 気象センサとの整合性を考慮したソーシャルメディアからの屋外画像収集	共	2020年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-21, p.54	岡田溪, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
34. 局所領域ごとの字体変換に基づく文書クロウンの生成	共	2020年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-15, p.48	佐々木航真, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
35. 画像生成ネットワークを用いたModel Inversion Attackの提案	共	2020年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-8, p.41	河津勘介, 廣瀬雄基, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
36. 画像認識器に対する	共	2020年3月	電子情報通信学会	金原祥太, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
クローン訓練攻撃とその防御法に関する考察			技術研究報告, PRMU2019-94, pp. 151-156	
37. 深層距離学習に基づく機械作業映像の半教師あり分節化	共	2020年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2019-92, pp. 139-144	河森大樹, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
38. 人物の自己遮蔽を考慮した少量の静止画像列からの動作クローン映像生成		2020年3月	電子情報通信学会技術研究報告, MVE2019-79, pp. 221-226	堤哲平, 中村和晃, 明神聖子, 新田直子, 馬場口登
39. 低精度計測値のみを用いた学習による三次元計測値補正	共	2020年3月	電子情報通信学会技術研究報告, MVE2019-78, pp. 215-220	本田純輝, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
40. トピックに基づくテキスト生成によるマイクロブログにおけるなりすまし投稿の生成	共	2020年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, C7-2, 8 pages	田村優幸, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
41. 教師あり学習による気象条件に応じた屋外画像の生成	共	2020年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, J2-3, 7 pages	松崎大輔, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
42. Anonymization of Gait Silhouette Video by Perturbing Its Phase and Shape Components	共	2019年11月	Asia-Pacific Signal and Processing Association Annual Summit and Conference, 7 pages (査読有)	Y. Hirose, K. Nakamura, N. Nitta, and N. Babaguchi
43. Discrimination between Handwritten and Computer-Generated Texts using a Distribution of Patch-Wise Font Features	共	2019年11月	Asia-Pacific Signal and Processing Association Annual Summit and Conference, 7 pages (査読有)	N. Hamasaki, K. Nakamura, N. Nitta, and N. Babaguchi
44. Generating Spoong Tweets considering Points of Interest of Target User	共	2019年11月	Asia-Pacific Signal and Processing Association Annual Summit and Conference, 7 pages (査読有)	J. Lim, N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi
45. Reproducible Experiments on Adaptive Discriminative Region Discovery for Scene Recognition	共	2019年10月	ACM International Conference on Multimedia, pp. 1076-1079 (査読有)	Z. Zhao, Z. Liu, M. Larson, A. Iscen, and N. Nitta
46. Training-free Method for Generating Motion Video Clones from a Still Image Considering Self-	共	2019年9月	IEEE International Conference on Image Processing, 5 pages (査読有)	T. Tsutsumi, K. Nakamura, S. Myojin, N. Nitta, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Occlusion of Human Body				
47. Twitter におけるユーザの嗜好及び地域情報を考慮したなりすまし投稿の自動生成	共	2019年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, B2-5, 8 pages	坂本宏祐, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
48. マイクロブログにおける投稿の類似性に基づくボットアカウント検出	共	2019年3月	電子情報通信学会総合大会, D-19-4, p.118	鎌田和博, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
49. メディア認識サービスにおけるクローン認識器検知手法の検討	共	2019年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-25, p.61	森勇登, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
50. 局所領域ごとの字体特徴の分布に基づく手書き文字列と自動生成文字列の識別	共	2019年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2018-136, pp.19-24	濱崎直紀, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
51. 個人ごとの基準文字画像の推定とその変形による手書き文字クローンの生成	共	2019年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2018-134, pp.7-12	生野祐輝, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
52. 動作・外観特徴を用いた段階的クラスタリングによる機械作業映像の教師なし分節化	共	2018年9月	情報科学技術フォーラム, H-005, 第3分冊, pp.99-100	河森大樹, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
53. 歩容情報保護のための歩容シルエット動画の匿名化	共	2018年8月	画像の認識・理解シンポジウム, PS2-60	廣瀬雄基, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
54. GAN を用いた気象状況を表す屋外画像の生成	共	2018年8月	画像の認識・理解シンポジウム, PS1-52	松崎大輔, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
55. CycleGAN を用いた三次元計測精度の向上	共	2018年8月	画像の認識・理解シンポジウム, PS1-43	本田純輝, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
56. Collecting Real-time Geospatial Information from Streamed Geotagged Tweets	共	2018年8月	画像の認識・理解シンポジウム, PS1-74	J. Lim, N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi
57. タグ付き画像集合から構築した空間概念構造の可視化	共	2018年8月	画像の認識・理解シンポジウム, DS-2	執行雄樹, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
58. Generating Handwritten Character Clones from an Incomplete Seed Character Set using Collaborative Filtering	共	2018年8月	International Conference on Frontiers in Handwriting Recognition, pp.68-73 (査読有)	K. Nakamura, E. Miyazaki, N. Nitta, and N. Babaguchi
59. 気象状況に応じた屋外画像生成	共	2018年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, D1-2, 7 pages	恒岡知生, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
60. マイクロブログを用いたリアルタイム地	共	2018年3月	データ工学と情報マネジメントに関	坂本宏祐, Lim Jeongwoo, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
域情報の推薦			するフォーラム, D1-2, 7 pages	
61. 映像中の歩容情報保護を目的とした匿名歩容シルエットの生成	共	2018年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-3, p.42	廣瀬雄基, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
62. 身体部位による人物の自己遮蔽を考慮した静止画からの動作クローン映像の生成	共	2018年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-63, p.102	堤哲平, 中村和晃, 明神聖子, 新田直子, 馬場口登
63. クライアント・サーバ型メディア認識における模倣認識器構築防止手法の検討	共	2018年3月	電子情報通信学会総合大会, D-21-1, p.148	金原祥太, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
64. 集合画像を対象とした人物の共起関係を考慮した人物画像検索	共	2018年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2017-183, pp.67-71	藤田薫哉, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
65. 協調フィルタリングによる字形モデル推定に基づく手書き文字クローン生成	共	2018年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2017-209, pp.219-224	宮崎永爾, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
66. 人物の形状と色を補正するネットワークに基づく静止画からの動作クローン映像の生成	共	2018年1月	電子情報通信学会技術研究報告, MVE2017-36, pp.45-50	宮脇勇輔, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
67. 異種センサ統合による屋外の快適さ推定	共	2017年9月	電子情報通信学会技術研究報告, MVE2017-17, pp.19-20	恒岡知生, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
68. 歩容シルエットクローン識別のための輪郭特徴量の検討	共	2017年8月	画像の認識・理解シンポジウム, PS3-59	生野祐輝, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
69. 個人内の多様性を考慮した手書き文字クローン生成	共	2017年8月	画像の認識・理解シンポジウム, PS3-63	宮崎永爾, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
70. タグ付き画像集合からの時空間概念知識の獲得と画像認識への利用	共	2017年8月	画像の認識・理解シンポジウム, PS3-38	新田直子, 中村和晃, 馬場口登
71. Extracting Real-World Observations from Microblog	共	2017年4月	IEEE International Conference on Multimedia Big Data, pp.232-237 (査読有)	M. Yoshitake, N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi
72. On-line Geospatial Term Extraction from Streaming Geotagged Tweets	共	2017年4月	IEEE International Conference on Multimedia Big Data, pp.322-329 (査読有)	T. Kamimura, N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi
73. Constructing Geospatio-Temporal Concept Graphs from Tagged Images	共	2017年4月	IEEE International Conference on Multimedia Big Data, pp.169-176 (査読有)	H. Honjo, N. Nitta, K. Nakamura, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
74. 隣接領域間での整合性を考慮した静止画からの運動フロー場推定	共	2017年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-22, p.78	櫻井皓介, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
75. ソーシャルメディアにおける画像に対するテキストの適切さ推定	共	2017年3月	電子情報通信学会総合大会, D-20-19, pp.154	片山貴博, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
76. 実世界の状況を考慮したソーシャルメディアクローン生成	共	2017年3月	電子情報通信学会総合大会, D-20-18, pp.153	坂本宏祐, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
77. 輪郭形状の滑らかさに基づく歩容シルエットクローンの識別	共	2017年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-21, p.77	生野祐輝, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
78. 深度センサの計測精度向上を目指した誤差特性取得手法の検討	共	2017年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2016-238, pp.249-254	豊福高史, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
79. ジャンク画像を考慮したマルチモーダルトピックモデルによる概念間距離の算出	共	2017年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2016-213, pp.105-110	長澤優佑, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
80. 前景の運動と背景の外観を併用した複数映像からの共通動作区間の検出	共	2017年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2016-221, pp.149-154	河村圭将, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
81. タグ付き画像集合を利用した時空間概念グラフの構築	共	2017年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2016-212, pp.99-104	本庄紘士, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
82. ユーザの性格を考慮したソーシャルメディアへの画像投稿傾向のモデリング	共	2017年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2016-220, pp.143-148	大西祐貴, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
83. マイクロブログからのリアルタイム地域情報抽出	共	2017年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, C7-1, 8 pages	上村卓也, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登 (学生プレゼンテーション賞受賞)
84. マイクロブログからの関連実世界観測情報の抽出	共	2017年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, D3-5, 8 pages	吉武真人, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登 (学生プレゼンテーション賞受賞)
85. 画像入力型情報検索システムにおける利用者の位置履歴の保護	共	2017年3月	電子情報通信学会技術研究報告, EMM2016-102, pp.91-96	藤井宏次朗, 中村和晃, 新田直子, 馬場口登
86. A Framework of Privacy-Preserving Image Recognition for Image-Based Information Services	共	2017年1月	International Conference on Multimedia Modeling, pp.40-52 (査読有)	K. Fujii, K. Nakamura, N. Nitta, and N. Babaguchi (Best Paper Runner-up)
87. Eect of Junk Images on Interconcept Distance Measurement: Positive or	共	2017年1月	International Conference on Multimedia Modeling, pp.173-184 (査読有)	Y. Nagasawa, K. Nakamura, N. Nitta, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Negative?				
88. 誤差分布と物体形状を考慮した深度センサの計測精度向上	共	2016年9月	情報科学技術フォーラム, H-010, pp.69-70	豊福高史, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登, 田中宏徳, 安達馨
89. Real-World Observation Extraction from Microblog based on Word Associative Relations	共	2016年4月	IEEE International Conference on Multimedia Big Data, pp.450-455 (査読有)	M. Yoshitake, N. Nitta, and N. Babaguchi
90. 概念の抽象度を考慮した時空間及び視覚的特徴量に基づく画像認識	共	2016年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-31, p.100	本庄紘士, 福島理天, 新田直子, 馬場口登 (平成28年度学術奨励賞受賞)
91. 物理センサを用いた擬似ソーシャルセンサ観測情報の生成	共	2016年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-29, p.98	恒岡知生, 新田直子, 馬場口登
92. タグ付き画像集合からの時空間概念に関する知識の獲得	共	2016年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2015-166, pp.13-18	福島理天, 新田直子, 馬場口登
93. Real-Time Local Word Database Construction from Twitter	共	2015年12月	IEEE International Conference on Social Computing and Networking, pp.299-306 (査読有)	T. Kamimura, N. Nitta, and N. Babaguchi
94. ユーザの関心に応じたマイクロブログからの実世界観測情報の抽出	共	2015年6月	ARG Web インテリジェンスとインタラクション研究会, No.6, pp.25-30	吉武真人, 新田直子, 馬場口登
95. 時空間的出現特性の違いを考慮した位置を示す語の抽出によるツイートの発信位置推定	共	2015年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, C4-2, 8 pages	上村卓也, 新田直子, 馬場口登 (学生プレゼンテーション賞受賞)
96. 疎分散カメラ環境における混雑状況の変動を考慮した実時間人流計測	共	2015年2月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2014-122, pp.57-62	赤井亮太, 新田直子, 馬場口登
97. Real-Time People Counting across Spatially Adjacent Non-Overlapping Camera Views	共	2015年1月	International Conference on Multimedia Modeling, pp.71-82 (査読有)	R. Akai, N. Nitta, and N. Babaguchi
98. 人物集合の分裂と結合を考慮した疎分散カメラ環境における実時間人流解析	共	2014年9月	映像情報メディア学会年次大会, 2 pages	赤井亮太, 新田直子, 馬場口登
99. 単語間の関係の経時変化を考慮したマイクロブログからの実世界観測情報の抽出	共	2014年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, B6-4, 8 pages	角谷直人, 新田直子, 馬場口登 (学生プレゼンテーション賞受賞)
100. 単語の地理的局所性の経時変化を考慮したツイートの発信位	共	2014年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム,	三木翔平, 新田直子, 馬場口登

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
置推定			B3-1, 8 pages	
101. 集合写真データベースの構造化に基づく画像検索	共	2014年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2013-200, pp.191-196	中井優次朗, 新田直子, 馬場口登
102. Real-World Event Detection Using Flickr Images	共	2014年1月	International Conference on Multimedia Modeling, pp.307-314 (査読有)	N. Nitta, Y. Kumihashi, T. Kato, and N. Babaguchi
103. People Counting across Spatially Disjoint Cameras by Flow Estimation between Foreground Regions	共	2013年8月	Workshop on Activity Monitoring by Multiple Distributed Sensing, pp.414-419 (査読有)	N. Nitta, T. Nakazaki, K. Nakamura, R. Akai, and N. Babaguchi
104. 疎分散カメラにおける前景領域間の移動量推定による広域人流計測	共	2013年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2012-195, pp.87-92	中崎孝之, 新田直子, 中村和晃, 馬場口登
105. 画像共有サイトを利用した実世界イベントの検出	共	2013年3月	データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, E10-4, 8 pages	組橋祐亮, 新田直子, 馬場口登
106. 人物共起特徴量を用いたクラス分類に基づく集合写真の検索	共	2012年8月	画像の認識・理解シンポジウム, OS11-03, 8 pages (査読有)	志水和田也, 中井優次朗, 新田直子, 馬場口登
107. Extracting Context Information from Microblog based on Analysis of Online Reviews	共	2012年7月	International Workshop on Social Multimedia Computing, pp.248-253 (査読有)	T. Takehara, S. Miki, N. Nitta, and N. Babaguchi
108. Classification-based Group Photo Retrieval with Bag of People Features	共	2012年6月	ACM International Conference on Multimedia Retrieval, 8 pages (査読有)	K. Shimizu, Y. Nakai, N. Nitta, and N. Babaguchi
109. コミュニティに基づく画像コレクションの構造化	共	2012年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-33, p.127	中井優次朗, 新田直子, 馬場口登
110. イベントの画像特徴パターンを用いた画像に対するタグ付与	共	2012年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-30, p.124	市原良平, 新田直子, 馬場口登 (平成24年度学術奨励賞受賞)
111. 発信源の局所性に基づくツイートからのローカル語の抽出	共	2012年3月	電子情報通信学会総合大会, D-4-4, p.39	三木翔平, 新田直子, 馬場口登
112. Example-based Home Video Remixing Support System	共	2011年11月	ACM International Conference on Multimedia, pp.563-572 (査読有)	N. Nitta and N. Babaguchi
113. Three-Level Privacy Control for Sensing-Based Real-World Content	共	2011年8月	International Conference on Internet Multimedia	T. Takehara, N. Nitta, and N. Babaguchi (Best Paper Runner-up)

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Digital Diorama			Computing and Service, 4 pages (査読有)	
114. Example-based Video Remixing for Home Videos	共	2011年7月	International Conference on Multimedia and Expo, 6 pages (査読有)	N. Nitta and N. Babaguchi
115. 対象オブジェクトの周辺情報を考慮したズーム映像の生成	共	2011年7月	画像の認識・理解シンポジウム, IS2-26, pp.675-682	渡邊健司, 新田直子, 馬場口登
116. Learning People Co-occurrence Relations by Using Relevance Feedback for Retrieving Group Photos	共	2011年4月	ACM International Conference on Multimedia Retrieval, 8 pages (査読有)	K. Shimizu, N. Nitta, and N. Babaguchi
117. スライドショー生成のための事例に基づく画像選択	共	2011年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-90, p.193	組橋祐亮, 新田直子, 馬場口登
118. 疎分散カメラ間の人物グループの対応付けによる人流解析	共	2011年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2010-272, pp.205-210	芥ゆかり, 新田直子, 馬場口登
119. Video Surveillance System for Community Spaces	共	2011年3月	IEICE Technical Report, PRMU2010-293, pp.299-304	D. Hao, N. Nitta, and N. Babaguchi
120. 事例に基づく映像ショット列に対する音楽ミキシング	共	2011年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2010-294, pp.335-340	金壯一, 新田直子, 馬場口登
121. Image Retrieval Considering People Co-occurrence Relations Using Relevance Feedback	共	2011年1月	SPIE-IS&T Electronic Imaging, Vol. 7881, 12 pages (査読有)	K. Shimizu, N. Nitta, and N. Babaguchi
122. Content-preserving Zoom-in View Generation for Surveillance Videos	共	2011年1月	SPIE-IS&T Electronic Imaging, Vol. 7873, 8 pages (査読有)	K. Watanabe, N. Nitta, and N. Babaguchi
123. コミュニティ空間における画像センシングによる不審人物検出	共	2010年7月	画像の認識・理解シンポジウム, IS1-27, pp.216-223	佐藤慶子, 新田直子, 馬場口登
124. 適合性フィードバックによる人物の共起関係を考慮した画像検索	共	2010年7月	画像の認識・理解シンポジウム, IS1-25, pp.200-207	志水和也, 新田直子, 馬場口登
125. 類似画像を利用した事例ベース超解像処理のための2段階アルゴリズム	共	2010年7月	画像の認識・理解シンポジウム, IS2-22, pp.905-912	浅野宏一, 新田直子, 馬場口登
126. Digital Diorama: Sensing-Based Real-World Visualization	共	2010年6月	International Conference on Information Processing and	T. Takahara, Y. Nakashima, N. Nitta, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
127. 共起人物を考慮した人物画像検索	共	2010年3月	Management of Uncertainty in Knowledge-Based Systems, pp.663-672 (査読有) 電子情報通信学会総合大会, D-12-40, p.151	志水和也, 新田直子, 馬場口登
128. 事例映像への適合度と知覚品質に基づくホームビデオ編集支援	共	2010年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2009-292, pp.347-352	吉田好, 新田直子, 馬場口登
129. Face Image Retrieval across Age Variation Using Relevance Feedback	共	2010年1月	International Multimedia Modeling Conference, pp.152-162 (査読有)	N. Nitta, A. Usui, and N. Babaguchi
130. 事例に基づく映像ショット列への音楽付与	共	2010年1月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2009-180, pp.162-172	金壯一, 新田直子, 馬場口登
131. 2009年PRMUアルゴリズムコンテスト「クローンを探せ!」実施報告と受賞アルゴリズム紹介	共	2009年12月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2009-155, pp.95-105	新田直子, 岡田行史, 糟谷望, 宇津野雄亮, 藤垣真人, 徳本晋之介, 藤賢一朗, 小川文夫, 川崎亨, 丸山拓馬, 大倉史生
132. Digital Diorama: Real-Time Adaptive Visualization of Public Spaces	共	2009年10月	International Conference on Security Camera Network, Privacy Protection and Community Safety, 2 pages (査読有)	T. Takahara, Y. Nakashima, N. Nitta, and N. Babaguchi
133. 事例映像に基づくシーンに対する適応的音楽選択	共	2009年9月	情報科学技術フォーラム, RK-007, pp.93-96 (査読有)	金壯一, 新田直子, 馬場口登 (FIT2009論文賞受賞)
134. 固定カメラに対する周辺情報を考慮したズーム映像の生成	共	2009年9月	情報科学技術フォーラム, RK-006, pp.89-92 (査読有)	渡邊健司, 新田直子, 馬場口登 (FIT2009ヤングリサーチ賞受賞)
135. フレーミング中の被写体特徴に基づくプライバシー保護手法の提案	共	2009年7月	画像の認識・理解シンポジウム, IS1-64, pp.798-805	知野見健太, 伊藤義道, 新田直子, 馬場口登
136. 事例映像からの学習に基づくマルチメディア協調型映像編集	共	2009年6月	第5回デジタルコンテンツシンポジウム, 1-5, 6 pages	栗原陽介, 新田直子, 馬場口登
137. 可逆型プライバシー保護画像処理	共	2009年3月	電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング研究会, DS-3-3, 2 pages	李光鎮, 伊藤義道, 于小億, 新田直子, 馬場口登
138. 適合性フィードバックを用いた顔の経年変化を含む人物画像検索	共	2009年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2008-272, pp.217-222	白井篤志, 新田直子, 馬場口登



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
139. Human Identification in Surveillance Video Based on Tracking via Camera Footage and ID Updating via RFID Systems	共	2009年1月	International Workshop on Computer Vision and Its Applications to Image Media Processing, pp. 58-62 (査読有)	D. Nakashima, Y. Ito, N. Nitta, and N. Babaguchi
140. Virtual Camerawork beyond Original Framing with Longshot Video Generation	共	2009年1月	International Workshop on Computer Vision and Its Applications to Image Media Processing, pp. 86-90 (査読有)	K. Asano, N. Nitta, Y. Ito, and N. Babaguchi
141. Suspicious Object Detection Based on Appearance Frequency in Surveillance Videos	共	2009年1月	International Workshop on Computer Vision and Its Applications to Image Media Processing, pp. 42-46 (査読有)	K. Sato, N. Nitta, Y. Ito, and N. Babaguchi
142. Automatic Appropriate Segment Extraction from Shots Based on Learning from Example Videos	共	2009年1月	Pacific-Rim Symposium on Image and Video Technology, pp. 1082-1093 (査読有)	Y. Kurihara, N. Nitta, and N. Babaguchi
143. Digital Diorama: Adaptive 3D Visualization System for Indoor Environment	共	2008年12月	International Workshop on "Sensing Web", 8 pages (査読有)	R. Yamaguchi, Y. Yamamoto, N. Nitta, Y. Ito, and N. Babaguchi
144. Privacy Protecting Visual Processing for Secure Video Surveillance	共	2008年10月	IEEE International Conference on Image Processing, 4 pages (査読有)	X. Yu, K. Chinomi, T. Koshimizu, N. Nitta, Y. Ito, and N. Babaguchi
145. A Discrete Wavelet Transform based Recoverable Image Processing for Privacy Protection	共	2008年10月	IEEE International Conference on Image Processing, 4 pages (査読有)	G. Li, Y. Ito, X. Yu, N. Nitta, and N. Babaguchi
146. ロングショット映像生成による仮想カメラワークの実現	共	2008年7月	画像の認識・理解シンポジウム, pp.1193-1198	浅野宏一, 新田直子, 馬場口登
147. 映像サーベイランスにおける出現頻度に基づく不審物体検出	共	2008年7月	画像の認識・理解シンポジウム, pp.404-409	佐藤慶子, 新田直子, 馬場口登
148. RFIDタグによるID更新と人物追跡に基づくサーベイランス映像中の人物同定	共	2008年7月	画像の認識・理解シンポジウム, pp.1204-1209	中嶋大介, 和田隆明, 伊藤義道, 新田直子, 馬場口登
149. Automatic Personal Preference	共	2008年6月	IEEE International	M. Yamamoto, N. Nitta, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Acquisition from TV Viewer's Behaviors			Conference on Multimedia and Expo, pp.1165-1168 (査読有)	
150. イメージモザイクングを用いた仮想カメラワークの生成	共	2008年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-80, p.211	浅野宏一, 新田直子, 馬場口登
151. オブジェクト同定のための照明変動を考慮したSIFT特徴量の洗練化	共	2008年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-66, p.197	白井篤志, 新田直子, 馬場口登
152. プライバシー保護を考慮した3D屋内環境可視化システム	共	2008年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-46, p.177	山本勇樹, 新田直子, 伊藤義道, 馬場口登
153. サーベイランス映像における出現頻度を考慮した不審物体の検出	共	2008年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-15, p.146	佐藤慶子, 新田直子, 伊藤義道, 馬場口登
154. 情報ハイディングを利用した可逆型プライバシー保護画像処理	共	2008年3月	電子情報通信学会総合大会, D-11-130, p.130	李光鎮, 于小億, 新田直子, 伊藤義道, 馬場口登
155. 映像編集のための事例映像に基づく素材映像からのショット列生成	共	2008年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2007-265, pp.127-132	姜国臻, 新田直子, 馬場口登
156. テレビ視聴行動からの個人的選好獲得	共	2008年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2007-263, pp.115-120	山本誠, 新田直子, 馬場口登
157. PriSurv: Privacy Protected Video Surveillance System Using Adaptive Visual Abstraction	共	2008年1月	International Conference on Multimedia Modeling, pp.144-154 (査読有)	K. Chinomi, N. Nitta, Y. Ito, and N. Babaguchi
158. Appropriate Segment Extraction from Shots based on Temporal Patterns of Example Videos	共	2008年1月	International Conference on Multimedia Modeling, pp.253-264 (査読有)	Y. Kurihara, N. Nitta, and N. Babaguchi
159. RFIDタグとカメラ映像を用いたサーベイランス映像中の人物同定	共	2007年10月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2007-106, pp.81-86	中嶋大介, 伊藤義道, 新田直子, 馬場口登
160. User and Device Adaptation for Sports Video Content	共	2007年7月	IEEE International Conference on Multimedia and Expo, pp.1051-1054 (査読有)	Y. Takahashi, N. Nitta, and N. Babaguchi
161. プライバシー保護機能を有する映像サーベイランスシステム PriSurv	共	2007年7月	画像の認識・理解シンポジウム, pp.73-80 (査読有)	知野見健太, 李光鎮, 中嶋大介, 新田直子, 伊藤義道, 馬場口登
162. 映像編集支援のための事例からの学習に基づくショットから	共	2007年6月	デジタルコンテンツシンポジウム, 6 pages	栗原陽介, 新田直子, 馬場口登

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
の編集区間抽出				
163. 映像編集支援のためのショット境界における動画と音響のアライメント	共	2007年6月	デジタルコンテンツシンポジウム, 6 pages	秋月達人, 新田直子, 馬場口登
164. プライバシー保護機能を有する映像サーベイランスシステム PriSurvにおける前景抽出	共	2007年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-101, p.217	李光鎮, 新田直子, 馬場口登
165. プライバシー保護機能を有する映像サーベイランスシステム PriSurvにおける人物同定	共	2007年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-102, p.218	中嶋大介, 新田直子, 馬場口登
166. プライバシー保護機能を有する映像サーベイランスシステム PriSurvにおけるポリシー制御	共	2007年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-100, p.216	知野見健太, 新田直子, 馬場口登
167. 映像編集支援のための事例映像に基づいたショットからの編集区間抽出	共	2007年3月	電子情報通信学会総合大会, D-12-93, p.209	栗原陽介, 新田直子, 馬場口登
168. Estimating Intervals of Interest During TV Viewing for Automatic Personal Preference Acquisition	共	2006年11月	Pacific-Rim Conference on Multimedia, pp. 615-623 (査読有)	M. Yamamoto, N. Nitta, and N. Babaguchi (Best Paper Award)
169. Analysis of Audio-Visual Synchronous Patterns in Edited Videos - Towards an Aid for Attractive Video Editing -	共	2006年11月	Korea-Japan Joint Workshop on Pattern Recognition, 6 pages	N. Nitta and N. Babaguchi
170. TV Viewing Interval Estimation for Personal Preference Acquisition	共	2006年7月	IEEE International Conference on Multimedia and Expo, pp. 889-892 (査読有)	H. Tanimoto, N. Nitta, and N. Babaguchi
171. 個人的選好獲得のためのテレビ視聴時における興味区間の推定	共	2006年7月	画像の認識・理解シンポジウム, pp.63-68 (査読有)	山本誠, 新田直子, 馬場口登
172. 映像編集支援を目指した映画予告映像からのショット時系列パターンの学習	共	2006年7月	画像の認識・理解シンポジウム, pp.824-829	姜国臻, 新田直子, 馬場口登
173. 映像編集支援のための事例映像における音と動画の同期パターン解析	共	2006年6月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2006-16, pp. 31-36	秋月達人, 新田直子, 馬場口登
174. Video Scene Retrieval with Symbol Sequence	共	2006年1月	SPIE-IS&T Electronic Imaging, Vol.	K. Morisawa, N. Nitta, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Based on Integrated Audio and Visual Features			6073, pp.607307-1-607307-10 (査読有)	
175. テレビ視聴環境における個人的嗜好獲得のための視聴区間推定	共	2006年1月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2005-151, pp.13-18	谷本浩昭, 新田直子, 馬場口登
176. 可変幅量子化型ウェーブレット変換を用いた電子透かしによる改ざん種類推定	共	2005年9月	情報科学技術フォーラム, pp.247-248	山本勇樹, 新田直子, 馬場口登
177. 個人的嗜好獲得のための選択的人物同定によるテレビ視聴区間推定	共	2005年9月	情報科学技術フォーラム, pp.35-36	谷本浩昭, 新田直子, 馬場口登
178. 編集映像における動画と音ストリームのリズム同期について	共	2005年9月	情報科学技術フォーラム, pp.233-234	秋月達人, 新田直子, 馬場口登
179. Video Summarization for Large Sports Video Archives	共	2005年7月	IEEE International Conference on Multimedia and Expo, 4 pages (査読有)	Y. Takahashi, N. Nitta, and N. Babaguchi
180. Automatic Parsing of American Football Videos by Intermodal Collaboration based on Transition Rules	共	2005年7月	IEEE International Conference on Multimedia and Expo, 4 pages (査読有)	N. Nitta and N. Babaguchi
181. Interactive Clustering of Video Segments for Media Structuring	共	2005年7月	IEEE International Conference on Multimedia and Expo, 4 pages (査読有)	Y. Kinoshita, N. Nitta, and N. Babaguchi
182. 時空間特徴を用いた映像修復-テロップ消去の場合-	共	2005年7月	画像の認識・理解シンポジウム, pp.699-706	庄司竜太, 新田直子, 馬場口登
183. マルチメディアセンシングによる会議環境の記録システム	共	2005年7月	画像の認識・理解シンポジウム, pp.583-587	徳永真悟, 伊藤義道, 新田直子, 馬場口登
184. Meeting Recording System via Multimedia Sensing	共	2005年6月	JSAI Workshop on Conversational Informatics, pp.19-24 (査読有)	S. Tokunaga, Y. Ito, N. Nitta, and N. Babaguchi
185. Automatic Video Summarization of Sports Videos Using Metadata	共	2004年12月	Pacific-Rim Conference on Multimedia, 8 pages (査読有)	Y. Takahashi, N. Nitta, and N. Babaguchi
186. Video Scene Retrieval with Sigh Sequence Matching Based on Audio Features	共	2004年12月	Pacific-Rim Conference on Multimedia, 8 pages (査読有)	K. Morisawa, N. Nitta, and N. Babaguchi
187. Clustering of	共	2004年12月	Pacific-Rim	Y. Kinoshita, N. Nitta, and N. Babaguchi

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
Video Packets Using Interactive Renement by Relevance Feedback			Conference on Multimedia, 8 pages (査読有)	
188. Embedding MPEG-7 Descriptions in MPEG Video by Focusing on DCT-Coefficients and Motion Vectors	共	2004年11月	Pacific-Rim Workshop on Digital Steganography, pp.80-88 (査読有)	S. Taniguchi, N. Nitta, and N. Babaguchi
189. メタデータを用いたスポーツ映像の自動要約	共	2004年11月	映像メディア処理シンポジウム, pp.107-108	高橋嘉雅, 新田直子, 馬場口登
190. インターモーダル協調によるアメリカンフットボール映像の自動パーシング	共	2004年10月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2004-88, pp.31-36	新田直子, 馬場口登, Shih-Fu Chang
191. Intermodal Collaboration: A Strategy for Semantic Content Analysis for Broadcasted Sports Video	共	2003年9月	IEEE International Conference on Image Processing, 4 pages (査読有)	N. Babaguchi and N. Nitta
192. Automatic Story Segmentation of Closed-Caption Text for Semantic Content Analysis of Broadcasted Sports Video	共	2002年10月	International Workshop on Multimedia Information Systems, pp.110-116 (査読有)	N. Nitta and N. Babaguchi
193. Story Based Representation for Broadcasted Sports Video and Automatic Story Segmentation	共	2002年8月	IEEE International Conference on Multimedia and Expo, pp.813-816 (査読有)	N. Nitta, N. Babaguchi, and T. Kitahashi
194. スポーツ映像の構造を考慮した意味内容記述モデルと自動ストーリー分割法	共	2002年6月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2002-20, pp.1-8	新田直子, 馬場口登
195. Extracting Actors, Actions and Events from Sports Video - A Fundamental Approach to Story Tracking -	共	2000年9月	International Conference on Pattern Recognition, pp.718-721 (査読有)	N. Nitta, N. Babaguchi, and T. Kitahashi
196. 言語と画像の情報統合によるスポーツ映像へのアノテーション付け	共	2000年7月	画像の認識・理解シンポジウム, pp. I-319-I-324 (査読有)	新田直子, 馬場口登, 北橋忠宏
197. 言語と画像の情報統合によるスポーツ映像からの人物・アクション・イベントの抽出	共	2000年3月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU99-256, pp.75-8	新田直子, 馬場口登, 北橋忠宏
198. 言語情報による連続メディアからの人物	共	1999年3月	電子情報通信学会総合大会, Vol.2,	新田直子, 馬場口登, 北橋忠宏

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
オブジェクトとアクションの抽出			p.365	
<b>3. 総説</b>				
1. 画像認識器を標的とした認識器クローン作成攻撃に対する防御法の検討	共	2022年6月	画像ラボ, vol. 33, no.6, pp.53-60	中村 和晃, 新田 直子, 馬場口 登
2. 画像認識サービスの悪用とその対処法に関する基礎検討	共	2021年3月	画像ラボ, vol. 32, no.3, pp.27-38	中村和晃, 新田直子, 馬場口登
3. 事例に基づく映像シーンに対する音楽ミキシング	共	2012年1月	画像ラボ, Vol. 23, No.1, pp.7-13	新田直子, 馬場口登
4. マルチメディア検索の最先端・第4回「スポーツ映像の検索」	単	2010年4月	映像情報メディア学会誌, Vol.64, No.4, pp.495-501	新田直子
5. 知っておきたいキーワード・第43回「ビデオアノテーション」	単	2009年8月	映像情報メディア学会誌, Vol.63, No.8, pp.1113-1115	新田直子
6. 観測型実世界コンテンツ：デジタルジオラマ	共	2009年3月	人工知能学会誌, Vol.24, No.2, pp.220-225	新田直子, 伊藤義道, 馬場口登
7. 個人的選好獲得システムの構築：興味区間抽出・興味度推定・プロフィール作成	共	2008年11月	画像ラボ, Vol. 19, No.11, p.58-64	新田直子, 馬場口登
8. テレビ視聴者の好みを推定しよう	共	2008年9月	放送文化基金報, No.71, pp.28-29	馬場口登, 新田直子
9. 個人的選好獲得システムの構築：テレビ視聴者の同定と興味区間の推定	共	2007年12月	画像ラボ, Vol. 18, No.12, p.1-6	新田直子, 馬場口登
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. Using Social Media as Sensors	単	2019年4月	Japan-Taiwan Joint Workshop on Multimedia and HCI	
2. ソーシャルセンシングによる地域の魅力解析	単	2018年9月	魅力工学研究会シンポジウム	
3. 観測型実世界コンテンツ「デジタルジオラマ」	共	2009年7月, 9月, 11月	体感しよう! あいあいネット	展示, 新風館, 京都
4. プライバシー保護機能を有する映像サーベイランスシステム	共	2008年	未来型情報家電×ネットトレンドシリーズフォーラム	展示
5. [パネル討論] データ工学とメディア理解との融合ー大量データにおけるパターン情報を扱う新しい枠組ー: 放送映像からの編集パターンマイニング	共	2007年3月	電子情報通信学会総合大会, DP-1-3	井手一郎, 尾関基行, 櫻井保志, 豊田正史, 新田直子
6. (パネルディスカッ	共	2007年	科学コミュニケー	京都大学総合博物館ミュージアム/セミナールーム

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
ション) どうすればネット上からの面白い映像素材を集めて魅力的な映像コンテンツを自作できるでしょうか?			ター・サマーセミナー2007京都事前研究会・説明会	
7. データ工学とメディア理解との融合 ～大量データにおけるパターン認識を扱う新しい枠組みは?	共	2006年6月	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2006-48	パネル講演、井手一郎, 新田直子, 尾関基行, 中村裕
8. マルチメディア協調型映像編集支援システム	共	2006年	IT分野-大学マッチングカンファレンス大阪	展示
9. ユーザ適応・デバイス適応型スポーツ映像閲覧システム	共	2006年	IT分野-大学マッチングカンファレンス大阪	展示
10. テレビ視聴行動からの個人選好獲得システム	共	2006年	IT分野-大学マッチングカンファレンス大阪	展示
11. 日経BPムック「変革する大学」シリーズ 大阪大学工学部/工学研究科2007-2008年度版	共	2006年	日経BP企画, pp. 70-73	
12. デジタル放送時代のテレビ視聴		2005年	大阪大学工学研究科, The News of Engineering, Vol. 30	
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. 特定の被写体に対する印象操作を行うフェイク画像・映像の検出と生成	単	2022年4月～2026年度	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)	
2. 非視覚センサ情報を用いたリアルタイムな屋外画像の生成	単	2019年4月～2021年度	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)	
3. 空調制御高度化のための異種センサを用いた環境快適性評価に関する研究	単	2016年～2018年度	文部科学省科学技術人材育成費補助事業, ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型), 女性教員をリーダーとする連携機関との共同研究支援	
4. マイクロブログからのユーザ適応型実世界観測情報検索システムの構築	単	2014年4月～2017年度	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)	
5. センシングで得られるプライバシー情報の開示に調和したユーザ利得の創出	共	2012年～2015年度	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)、連携研究者(代表: 馬場口登教授・大阪大学)	
6. 適合性フィードバックによる人物の共起関係を考慮した画像	単	2011年4月～2013年度	日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B)	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
検索システムの構築				
7. プライバシー・センシティブな視覚情報のセンシングと保護処理	共	2009年～2011年度	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (A)、連携研究者 (代表: 馬場口登教授・大阪大学)	
8. Development of Example-Based Interactive Video Remixing Tool	単	2009年	マイクロソフト産学連携研究機構 (IJARC) 共同研究プロジェクト (CORE)	
9. ラッシュ映像の編集による映像コンテンツ制作支援システムの構築	単	2008年4月～2010年度	日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B)	
10. センサ情報の社会利用のためのコンテンツ化: 要求仕様に応じたセンサ選択とセンサ情報の提示	共	2006年～2008年度	文部科学省科学技術振興調整費, 科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進、研究参加者 (代表: 美濃導彦教授・京都大学)	
11. プライバシー保護処理を用いた安心感のある映像サーベイランスの研究	共	2005年～2007年度	総務省戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE)、連携研究者 (代表: 馬場口登教授・大阪大学)	
12. 映像と音楽リズムの同期によるマルチメディアコンテンツ作成	単	2005年～2006年度	日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B)	
13. テレビ視聴環境のセンシングによる個人的選好の自動獲得	共	2004年	(財) 放送文化基金、研究分担者 (代表: 馬場口登教授・大阪大学)	
14. コンテクスチャル・メディアータを用いたインタラクティブ視覚拡張型放送に関する研究	共	2003年～2004年度	情報通信研究機構 (旧, 通信・放送機構) 創造的情報通信技術研究開発制度、研究分担者 (代表: 馬場口登教授・大阪大学)	
15. 言語と画像の情報統合によるスポーツ映像の意味内容解析及び構造化に関する研究	単	2002年～2003年度	日本学術振興会特別研究員奨励費	

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2022年4月	電子情報通信学会ISS査読功労賞
2. 2022年～2023年度	電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、技術会議幹事
3. 2022年	International Workshop on Attractiveness Computing in Multimedia, General Chair
4. 2022年	IEEE International Conference on Multimedia and Expo, Demo Chair
5. 2022年	ACM Multimedia Asia, Tutorial Chair
6. 2021年	IEEE International Conference on Multimedia Information Processing and Retrieval, Program



学会及び社会における活動等

年月日	事項
<b>6. 研究費の取得状況</b>	
	Chair
7. 2020年12月	Outstanding Reviewer Award IEEE Transactions on Multimedia
8. 2020年7月	Outstanding Reviewer Award IEEE International Conference on Multimedia and Expo 2020
9. 2020年5月～現在	電子情報通信学会魅力工学 (AC) 特別研究会、幹事補佐
10. 2020年～2021年	ACM International Conference on Multimedia, Reproducibility Chairs
11. 2020年	International Workshop on Attractiveness Computing in Multimedia, General Chair
12. 2019年4月～現在	情報処理学会論文誌データベース (TOD)、編集委員
13. 2019年	ACM International Conference on Multimedia, Reproducibility Committee
14. 2018年	ACM International Conference on Multimedia Retrieval, Workshop Chair
15. 2018年	ACM International Conference on Multimedia, Area Chair
16. 2018年	IEEE International Conference on Visual Communications and Image Processing, Area Chair
17. 2017年6月～2020年4月	電子情報通信学会魅力工学 (AC) 特別研究会、幹事
18. 2017年	電子情報通信学会画像の認識・理解シンポジウム(MIRU), MIRU Conference Editorial Board, Associate-Editor-in-Chief
19. 2016年4月～2022年3月	映像情報メディア学会関西支部、役職者
20. 2016年	International Workshop on Attractiveness Computing in Multimedia, General Chair
21. 2014年12月～現在	映像情報メディア学会英文論文誌 (MTA)、編集委員
22. 2014年5月～2016年4月	電子情報通信学会パターン認識・メディア理解(PRMU)研究会、専門委員
23. 2014年5月～2016年4月	映像情報メディア学会関西支部、会計幹事
24. 2014年～2016年	電子情報通信学会画像の認識・理解シンポジウム(MIRU), MIRU Conference Editorial Board, Area Chair
25. 2014年	映像情報メディア学会年次大会、実行委員
26. 2013年7月～2017年3月	文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター 専門調査員
27. 2012年	ACM International Conference on Multimedia, Local Arrangement Chair
28. 2011年～2012年	電子情報通信学会画像の認識・理解シンポジウム(MIRU)プログラム委員会、領域チェア
29. 2009年5月～2013年4月	映像情報メディア学会技術委員
30. 2009年～2014年	電子情報通信学会パターン認識・メディア理解 (PRMU) 研究会、アルゴリズムコンテスト実行委員
31. 2008年	電子情報通信学会画像の認識・理解シンポジウム (MIRU)、若手プログラム委員
32. 2008年	International Conference on Multimedia Modeling, Publicity & Sponsorship Chair